

様式（第5条関係）

会 議 録			
令和元年度 第19採択地区教科用図書 第3回選定委員会			
招集年月日	令和元年7月18日（木）	開会場所	行田市教育委員会 2B会議室
開閉の時刻 及び宣言者	開会 7月18日（木） 閉会 7月18日（木）	9時30分 15時30分	司会 学校教育課長
会長	行田市教育研究会長	副会長	中学校校長会長
席次番号	出席の委員	摘 要	
1	行田市教育研究会長		
2	小学校校長会長		
3	中学校校長会長		
4	学校教育課長		
5	P T A 連 合 会 長		
議 事 参 与 者			書 記
学校教育課指導主事兼主幹			学校教育課指導主事兼主幹

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	開会
会長	あいさつ
司会	資料確認
司会	協議に入らせていただく。協議の進行については、第19採択地区教科用図書選定委員会規約第9条2項により、第19採択地区教科用図書選定委員会会長様をお願いする。よろしく願います。
会長	はじめに、第19採択地区教科用図書選定委員会規約第10条により、次第（1）（3）の「協議」は公開、（2）（4）の選定は非公開とするがよろしいか。
会長	<p>【全委員承認】 事務局。傍聴される方は、来られているか。傍聴する方がいたら、傍聴について説明し、案内をお願いする。</p>
事務局	<p>（事務局より傍聴人に説明する。） ※傍聴人規則の説明</p> <p>（傍聴人着席）</p>
会長	それでは、協議にうつる。協議の進め方は、午前の部は中学校となる。国語から1種目ごとに進めていくことでよろしいか。
会長	<p>【全委員承認】</p>
会長	それでは、国語から報告をお願いする。
委員 B	<p>教育出版の各領域の学習活動を言語事項、コラムとともに、一つのまとまりのある単元構成にしている。それぞれの教材を、各領域に渡って関連づけた学習活動ができる構成となっている。系統だった教材である。</p>
委員 A	<p>学校からの報告書には、教育出版は、発達の段階に合わせた教材の選択と、学びの重点を示すことで、単元の目標が生徒自身に分かりやすいものとなっているとある。</p>
委員 D	<p>小学校で採用されている光村は、指導内容によって系統的に学習できるような構成になっている。学年ごとも相互に関連して、既習事項を生かしながら新しい学習ができるような構成になっている。</p>
委員 C	<p>教育出版は行間が適切で、見やすい印象であった。さらに、各領域の学習活動を言語事項、コラムとともに、一つのまとまりのある単元構成にしていると、報告されている。それぞれの教材を、各領域に渡って関連づけた学習活動ができる構成となっていることが報告されている。確かにその通りである。</p>
委員 E	<p>光村図書の報告書では、興味関心を高めるために、多様な分野の教材を取り上げ、さまざまな言語活動を想定した構成になっている。そして、現代的課題を取り上げると同時に、平和や環境教材などの不易なテーマも取り上げられている。と書かれていた。</p>
会長	他に国語について、意見はあるか。なければ、次に移る。協議が行われたが、この後も今のように各調査からの報告を参

	考に協議を進めていく。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	次に、書写について意見があればお願いします。
委員 D	指導内容によって系統的に学習できるような構成になっている。学んだことを日常生活にいかしたり、生活場面で役立たせたりする事例が意識され、どこの会社も指導されている。そういったところが、参考になる。
委員 E	光村図書は、毛筆や硬筆の基礎がわかりやすく書かれており、手本の書体も見やすいと感じた。また、言語活用例も豊富であった。
委員 A	光村図書の報告書には、その他の視点で、教科書全体を「基礎編」「学習編」「活用編」の3部構成とし、「学習編」を軸に、相互に参照しながら活用することで、日常に生きて働く書写力を身につけられるようにしていると書かれていた。
委員 B	書写は文字を書く学習に主眼を置いているわけだが、道具の扱いについても学校では指導を行っている。光村図書や東京書籍は片付けについての記載が充実していると感じた。文字を練習することももちろん大切であるが、片付けることも大切な指導ではないか。
委員 C	書く機会が少なくなっている、教科書を見て書きたくなるようになるもの、基礎・基本も学べるものがよい。保護者が見ても一緒に書きたくなる工夫が見られる。
委員 D	中学校では授業でやる機会が少なくなっている。だからこそ、小学校で使っていた教科書会社が使いやすいかもしれない。
委員 C	書きぞめは今、中学校でやっているのだろうか。
委員 D	授業の中ではやっている。
委員 C	小学生の時は、よく家に持ってきて練習していたが、小学生のうちから書くことを大事にしていかなければならない。
会長	他に書写について、意見はあるか。なければ次に移る。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	次に、社会について意見があればお願いします。まず、地理的分野からお願いします。
委員 A	東京書籍は、資料数が豊富である。また、資料の読み取り方や調べ学習を行う手順などを示され、地理学習に必要な基礎的スキルを習得できるようになっていた。さらに、学習の仕方を丁寧に示すことで、生徒のつまずきも少なくなるのではと感じた。
委員 C	東京書籍の報告書では、中学校社会科で習得すべき知識や概念が過不足なく盛り込んであり、特に、生徒がつまずきやすい事項については、巻末の「用語解説」で簡潔な補足説明を加えることで、知識の定着を確実にするよう工夫しているとあった。「用語解説」のおかげで、分からないことに対して学習が止まらずに、スムーズに進んでいくと感じる。
委員 E	「用語解説」の分量が適度な分量で、多過ぎず少な過ぎず適度な分量でちょうどよい。
委員 D	資料の読み取りという点は重要である。教育出版は、「見よう」「読み解こう」において、資料の読み取りや活用の力を段階的に高められるようになっていたと感じた。資料から何が分かったのか、読み取りやすくなっている。

会長	他に地理的分野について、意見はあるか。なければ次に移る。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	次に、歴史的分野についてお願いします。
委員 B	東京書籍は、小学校学習指導要領で示された42人の人物を取り上げ、小学校社会科の学習との円滑な接続がなされているのと同時に、他分野との関連を示す「分野関連マーク」を付すことで、1つの事象を多面的・多角的にとらえる学習を可能にしている。
委員 E	東京書籍は、基礎基本の知識技能を身につける「歴史スキルアップ」や知識を確認する学習の確認のコーナーが設けられており、着実な定着を図る工夫がなされていた。
委員 A	歴史を学ぶ楽しさを味わうことは重要である。帝国書院は、日本の歴史の流れを理解させるために、生活や文化に着目をさせたり、時代を大観させたりして、その特色を理解しやすいように構成されていると感じた。
委員 C	学校からの報告書を見ていると、東京書籍は、資料が豊富であると記載されていた。資料を適切に読み取るという点では、教育出版や東京書籍は視点を明確にしていると感じた。歴史は、流れが繋がっているのも、その見やすさの点ではこの2つが見やすい。
会長	他に歴史的分野について、意見はあるか。なければ、次に移る。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	次に、公民的分野についてお願いします。
委員 D	東京書籍についても、社会参画の視点でみると意識や態度を養えるように構成されていた。社会の変化に対応し社会の形成者としての力を育成できるのではないかと感じた。
委員 C	どの教科書も現代社会における今日的課題について触れていると感じた。教育出版は資料やコラムなどの読み物から、民主主義の仕組みについて考えられるようになっていたと感じた。
委員 B	東京書籍については、資料からの学びに加えて、体験的な活動を取り入れながら民主主義のルールを学べるようになっていたと感じた。
会長	他に公民的分野について、意見はあるか。なければ、次に移る。
委員 A	・今や社会はグローバル化、情報化の社会となり、それに対応できるように、主体的に参画できるような態度を育てる内容になっている。
会長	他に公民的分野について、意見はあるか。なければ、次に移る。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	次に、地図についてお願いします。
委員 D	2社とも地図のみにとどまらず、他の分野との連携が見られた。東京書籍は歴史や公民などの分野も教科書と連携した編集となっている。
委員 E	帝国書院についても、連携が図られていた。歴史地名が示されていたり、江戸時代の五街道が示されていたりと資料が効果

委員 B	<p>的に配置されていたと感じた。</p> <p>帝国書院は、中学生が使用することを念頭に置き、諸地域に興味関心が持てるように地図で大観させることを重要視して構成されている。また、社会のしくみや現状など、社会科の基礎・基本がしっかりと身に付く教科書となるよう各地図に工夫がなされていた。</p>
会長	<p>他に地図について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p>
会長	<p>次に、数学について願います。</p>
委員 A	<p>教育出版については、数学の教材や話題が掲載され、幅広い知識と教養を身につけられるように工夫されていたと感じた。</p>
委員 B	<p>東京書籍についても、社会とのつながりの内容が多く、生徒の学ぶ意欲が高められる工夫がなされていると感じた。</p>
委員 E	<p>東京書籍は、主体的な学習、数学的な思考力や表現力の育成が図れるよう構成されている。また、問いの配列や側注の解説により、基礎・基本の定着に向けた配慮がされている。日常への数学の有用性が実感できる資料が盛り込まれている。</p>
委員 D	<p>小学校では今、まとめ、振り返りをして適応問題を行って、家庭でも同じ問題をして定着を図る流れができている。東京書籍は、表記などについても、単元での学習目標がはっきり示されていたり、インデックスをつけ、ページを探しやすくしたりしていた。さらに、例題と問題を順序よく配列し、自学自習がしやすくなっていて、ノート作成を手助けするページなどもあったと報告されている。</p>
会長	<p>他に数学について、意見はあるか。</p>
委員 A	<p>東京書籍にある考えを伸ばす。「数学マイノート」がよいと感じた。生徒自身で学習を充実させることができるのではないか。</p>
会長	<p>他に数学について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p>
会長	<p>次に、理科について意見があれば願います。</p>
委員 D	<p>どの会社も、実験に対する安全面について、配慮がなされていた。注意のマークや朱書きをするなどの工夫が見られたと感じた。学校からの報告書には、東京書籍は実験内容が精選され、習得すべき知識技能がわかりやすく示されていると記載されていた。加えて、学校からの報告書を見ると、科学・物理分野において分子概念の可視化モデルがわかりやすいとあがっていたので専門的な意見も参考にしたい。</p>
委員 B	<p>啓林館は、基礎基本の事項が重視されていたと感じた。また、大日本図書は単元の終わりに問題を設け、繰り返し復習ができるようになっていたので、知識が身に付くと感じた。</p>
委員 E	<p>東京書籍は、学年別の3分冊になっており、それぞれの単元の指導時期や内容の系統性を踏まえた単元配列になっている。また、「なぜだろう」と、課題をもち、実験・観察を通して課題解決をする流れが工夫されている。</p>
委員 A	<p>東京書籍の写真資料については、東京書籍も豊富であったと感じた。また、図や写真のレイアウトが適切でバランスが良い。</p>

委員 C	興味関心を高める点で言えば、どの教科書会社も日常生活と科学を結びつけた読み物があり、科学の意義がつかめるなど、どれも工夫されていたと感じた。
会長	他に理科について、意見はあるか。なければ、次に移る。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	次に、音楽についてお願いします。まずは、音楽・一般からお願いします。
委員 E	教育芸術社も教育出版も、歌唱の技能について、丁寧に記載され、生徒の技能を高められるのではないかと感じた。
委員 C	変声期などの発達の段階に応じた技能の習得が、どの会社も配慮されていたと感じた。
委員 D	教育出版は、表現及び鑑賞の幅広い音楽活動が展開することをねらいとして、基礎・広がり・活用の「3つの柱」が設定され、題材と活動ポイントが見開きの左上に示されている。また、両社ともそうであるが、命の大切さや思いやりの心など道徳教育に関する歌唱教材が掲載されている。
委員 C	教育芸術社は、教材の配置に学習段階を意識した系統性を感じた。
委員 B	教育芸術社は合唱曲の選択がよいと感じた。わかりやすく、親しみやすい教材が多かったと感じた。
会長	他に音楽・一般について、意見はあるか。なければ、次に移る。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	次に、音楽・器楽についてお願いします。
委員 A	教育芸術社は、重要な学習事項が優先的に目に入ってくるシンプルなデザインになっている。ユニバーサルデザインが考慮され、色彩や文字が工夫されている。
委員 C	教育芸術社は、伴奏譜がついていて、親切であると感じた。また、曲もなじみやすいものが多かったと感じた。
委員 B	どちらも楽器の基本的な技能をわかりやすく説明しており、力を高める工夫が成されていたと感じた。
委員 D	どちらの教科書も、我が国の伝統音楽やその手法を用いた曲などが掲載され、多様な音楽のよさを味わえるよう配慮されている。
会長	他に音楽・器楽について、意見はあるか。なければ、休憩とする。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	それではここで12分間の休憩とする。
	<b>【休憩】</b>
会長	それでは、続きを行う。次に美術についてお願いします。
委員 A	日本文教出版は、鑑賞教材のページが見開きになっているのでインパクトがあり、また、大きく示されているので鑑賞しやすいのではないかと感じた。

委員 B	どの教科書も発達段階を踏まえて構成されており、題材ごとに学びのねらいやポイントなどが明記され、活用できるようにしている。中でも日本文教出版の教科書は、参考作品や資料が豊富で美しく構成され、発想を深め、造形感覚や感性を育もうとしている。
委員 D	県では科学館や美術館との連携が推進されている。行田市では博物館はあるが、美術館がない中で開隆堂の「原寸ギャラリー」では、実物を見ているかのように細かい表現方法まで鑑賞でき、共通の青い枠の具体的な問いかけが鑑賞のきっかけとなっている。
委員 E	技法の面から、小学校は技法よりも児童の思いを大事にする。中学校においてどういう段階を踏んで技法を身に付けていくか気になる。光村図書や日本文教出版は習熟度に合わせた構成になっており、段階を追って技能を高められるのではないかと感じた。
委員 C	日本文教出版の教科書サイズがワイド版となっており、参考作品が大きく鮮明に掲載されたているように感じた。そこでおもしろいと感じることで創作意欲も湧く。活用しやすい鑑賞資料となっているのではないか。
委員 E	教科書会社によって紙質が違うこともポイントである。
会長	他に美術について、意見はあるか。なければ、次に移る。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	次に保健体育について願います。
委員 D	東京書籍は教科書のサイズも大きいので、見やすいと感じた。サイズを大きくすることで、有効活用し、学習内容を生徒が生かしやすいように配慮されていたと感じた。
委員 E	東京書籍は、「章の扉」で、小・中・高の学習内容を簡潔に示し、系統性がわかるようになっている。学習の流れが見える構成で、本文と資料、写真やイラスト等が効果的に配置されている。各章末に「章末資料」や「確認の問題」「活用の問題」がある。また、「学習のまとめ」として、章末に自己評価ができる欄がある。
委員 A	どの教科書も資料が豊富でありわかりやすいものが掲載されていて、工夫が成されていたと感じた。東京書籍は心肺蘇生法の記述がわかりやすいのではないかと感じた。
委員 B	教科書のサイズを大きくしたり、資料やグラフ、イラストの配置を工夫したりし、見る側にとって理解を深めようとする工夫が見られる。
委員 C	東京書籍はイラストや図がわかりやすいと感じた。資料も細かく、丁寧な指導ができるのではないかと感じた。
会長	他に保健体育について、意見はあるか。なければ、次に移る。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	次に、技術・家庭について願います。まずは、技術分野から願います。
委員 A	開隆堂の各内容は、「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」で構成され、生徒の興味・関心・意欲を高め、問題解決的な学習を展開し、系統的に学習することができる。
委員 B	開隆堂は、安全教育や環境教育、伝統文化、科学的視点、情報モラルなども、総合的な取り扱いだけでなく、それぞれ個々の学習場面と関連づけて取り上げている。

委員 C	開隆堂は技術の進歩年表を取り上げて、今までの技術の積み重ねが見られる。教育図書は、実習教材を多く取り上げ、注意点を印をつけるなど、安全面に対する配慮が成されていたと感じた。
委員 D	東京書籍は情報量も多く、見開きで作業工程が示されており、マークで注意点もしめされているなど、指導しやすい、理解しやすい配慮が随所にされていたと感じた。
会長	他に技術分野について、意見はあるか。なければ、家庭分野に移る。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	次に、家庭分野について願います。
委員 D	開隆堂は、報告書にもあるように全ての学習後に「生活の課題と実践」のページを設けており、実践の流れをステップ 1 課題 2 計画 3 実践 4 結果 5 評価 と共通した流れで示している。「リンクマーク」を付して既習の内容を振り返させるとともに、思考・判断・表現させるための手立てを具体的に明記しているように感じる。
委員 C	開隆堂は、見開きになっていて、しかも見開きで学習が完結するので、生徒が理解しやすいのではないかと感じた。
委員 B	教育図書は、文章や図がわかりやすく構成されており、重要語句もわかりやすいと感じた。
委員 A	開隆堂は、各学習項目の基礎的な内容を身に付けさせるために、あらかじめ考えさせたり、調べさせたりする課題を提示し、学習への関心・意欲を高めさせる工夫をしている。
委員 E	技術、家庭に限らず、教科書の大きさが報告であがってきたが、重さも気になってくる。
会長	他に家庭分野について、意見はあるか。なければ、次に移る。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	次に、英語について願います。
委員 B	学校図書は、基礎的・基本的な知識・技能を習得するための言語材料と、習得した知識・技能を活用して表現する言語活動をバランスよく配置している。また、徒の様々な特性や個性、発達段階を踏まえ、ユニバーサルデザインの観点に基づき、どのような生徒にとってもわかりやすい工夫がなされている。
委員 E	学校図書は小学校での英語活動を生かし、教科としての英語にスムーズにつながるような構成がされていたと感じた。はじめから、日常の会話に近いコミュニケーションが英語でできるよう指導に工夫がされていたと感じた。
委員 A	教育出版や三省堂も基本的な内容を身につけさせ、実生活で役立たせようという意識を生徒に持たせるよう配慮されていたと感じた。
委員 D	学校図書は、英語への興味・関心を高める資料や Lesson の関連資料など、学習をバックアップできるような付録教材があると報告されている。実際に、見ても使いやすそうで現場でも生かせると感じる。
委員 C	どの会社の教科書においても、小学校から中学校までのつながりを意識して生きた英語の教材や音声教材の活用がなされている。
会長	他に英語について、意見はあるか。なければ、承認をお願い



	<p>して次へ進む。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p>
会長	<p>皆様の御協力によりまして、中学校全ての教科書の協議が終了した。</p>
会長	<p>これより、投票による選定に入る。          ここから先については、非公開とする。傍聴人の方は、退席をお願いします。</p> <p>(傍聴者 退席)</p>
会長	<p>以上で選定を終了する。          事務局は、傍聴人に声をかけることをお願いします。</p> <p>(傍聴者 入場)</p>
会長	<p>続いて、事務局より事務連絡を願う。</p>
事務局	<p>午後の開始時刻については、13時から開始になる。</p>
会長	<p>午後の部は小学校となる。          それでは、これより昼休憩とする。</p> <p><b>【昼休憩】</b></p>
<b>【午後】</b>	<p>～小学校の部～</p>
会長	<p>それでは、選定協議 午後の部 小学校を開始する。まず、国語について、お願いします。</p>
委員 A	<p>今回、新学習指導要領に合わせ、主体的・対話的な学びに直結する論理的思考力を身に付けるためにも、言葉に触れる教材は、以前よりも充実しているように感じる。</p>
委員 E	<p>どこの教科書も語彙指導には、確実に身に付く指導を配慮し、工夫している。東京書籍・学校図書においては、言葉集めの活動を設定することで、さらにそれを巻末の言葉に関する付録と併用することで、日常生活で活用できるように工夫されている。</p>
委員 A	<p>語彙指導のみならず、今回新学習指導要領の学習内容の改善・充実に読書指導も含まれているが、調査員の報告からも読書に親しむ態度の工夫が挙げられているが、その中でもやはり光村図書の学年に合わせ、様々なジャンルの本を幅広く紹介しているというのは重要に感じる。</p>
委員 D	<p>本市における学力テストの結果から、『読解力の向上』が課題となっている。国語はその課題を解決するのに重要な教科である。児童の様子を見ていると読むことに抵抗も感じているようである。その中で、光村図書においては、「読むこと」への抵抗を少なくするために、見通しをもつことにつながる「どんなことを学ぶのか」「どんな教材なのか」について、まず教材の扉の場で紹介している。何を学ぶのか学習の目的をもって、</p>

委員 B	教材にスムーズに入ることができているように感じた。
委員 D	光村は、さらに読む教材で学んだことを活用して、案内状や報告文など書く活動とつなげている。思考力・判断力・表現力を多面的に身に付けさせる工夫が見られる。
委員 C	その「読むこと」の單元において、單元最後のページに「たいせつ」が設けられている。ここで、身に付けさせる力をしっかりと確認し、国語のどんな力にもつなげられるように工夫している。
委員 E	読解力は他の教科にもつながる。その力がしっかりとつくような教科書がよいと感じる。
会長	どの教科書会社も、挿絵や言葉がよい。そういうところが国語を苦手としている児童にとっては安心して学習できるような工夫となる。
会長	他に国語について、意見はあるか。なければ、次に移る。
委員 C	<b>【全委員承認】</b> 次に、書写について願います。
委員 A	前回、鉛筆の持ち方について伺ったが、どこの教科書会社も用具の扱い方やよい姿勢について明記されているとのことだった。改めて見比べてみると教育出版の紙面構成は、写真が大きくそれに合わせポイントもわかりやすく明示されていた。筆と鉛筆の写真の持ち方が上下にあることで、違いがはっきりとしていて工夫されているように感じた。
委員 B	今回、日常生活との関わりという場面で国語教科書と連動させて、日常化への工夫が見られた。枕草子や百人一首など古典作品を視写のような書く活動はどこの会社でもあるようだが、東京書籍のようにリーフレット作りのように、国語教材の作品作りに書写の力を活用する場面を設定するのは工夫していると感じる。
委員 E	はね、はらい、とめなど字形のポイントはある程度意識して書いているが、中学生の様子を見ていると、中々「筆圧」を意識できている児童は少ないように感じる。その中で、教育出版は筆圧の入れ方を大中小と示し、わかりやすく工夫している。
委員 C	どの教科書も筆のはらや穂先の動きが色違いで入っており、分かりやすくなっている。どの教科書会社も主体的に学習できるように学習過程をわかりやすく明示し、見通しをもって学習に取り組める工夫が見られた。その中でも、教育出版は1～7段階に細分化し、苦手な児童にも丁寧に指導できるようにスモールステップで具体的な学習の進め方になっているように感じた。
委員 D	学習過程の中での疑問に対して日本文教出版では、「考える」やキャラクターの吹き出しによって、学習のヒントを設け主体的に学習する工夫をしている。
会長	どの教科書も QR コードがあるのがよい。学校だけでなく、家に帰っても、正しい書き方が練習できるのかよい。
会長	他に書写について、意見はあるか。なければ、次に移る。
会長	<b>【全委員承認】</b> 次に、社会・地図に移る。まずは、社会について願います。
委員 D	問題解決的な学習の流れについてどこの会社もしっかりと明記されており、見通しをもって主体的に学習できるようになっている。その中でも、東京書籍では「つかむ」「調べる」「ま

委員 E	とめる」「いかす」の具体的な学習の進め方が提示してあり、児童自ら学習を進めやすい工夫がある。
委員 C	その「まとめる」場面では、新聞や人物カード、意見文もするなど多様な表現活動を示し、問題解決されたことによって得た知識を定着させると共に、思考力・判断力・表現力を育成する工夫がある。
委員 B	社会科では、写真やグラフなど様々な資料から解決のために必要な情報を読み取る力というものが大切だと思う。そのために、日本文教出版は「学び方・調べ方コーナー」で資料活用力や表現力の基礎・基本をていねいに指導しているように感じる。
会長	調べる力というのは、社会科において重要な基礎である。他の2社においても「学びのてびき」や「まなび方」というコーナーを設け、やはり調べる力をしっかりと身に付けさせようとしている。
委員 A	他に社会について意見はあるか。なければ、地図についてお願いします。
委員 C	この前の報告でもあったが、地図帳の使い方・読み取り方・活用の仕方が丁寧に指導されているのは重要だと感じる。先生の指示があつてから、地図帳を使うのではなく、調べる際の重要な資料として主体的に使える児童を育成したい。そういった意味で、帝国書院は積極的な活用が促す工夫が見られる。
委員 D	東京書籍の土地の色分けやそのコントラストがくっきりとして見やすく、名産品のイラストも以前より大きく示されていてページを開いたときのわかりやすさが工夫されている。これは、どちらもそれぞれに工夫されている。
委員 E	帝国書院は発達の段階に合わせた地図活用の仕方を大事にしているように感じる。3年生からの易しい地図と4年生以上の詳細な地図とに分け、誰でも活用できるよう工夫されている。
委員 E	前回の報告でも色合いについて報告があつたが、どちらもそれぞれに細かい工夫が見られる。
会長	統計資料についても、見やすくするための工夫が見られる。
委員 E	他に地図について、意見はあるか。なければ、次に移る。
会長	<b>【全委員承認】</b>
委員 B	次に、算数についてお願いします。
委員 A	前回の報告から、問題解決の手順が明確でわかりやすいことの内容が多く聞かれたと思う。児童にとって学びやすく、教師にとって教えやすいものが重要であると感じた。その中でも、新興出版社啓林館の学習の入り口から解決の手立てわかりやすくなっているが、特に最後、巻末の学びのサポートにより学習内容の定着を図るためのコーナーがあり、工夫されていると感じた。
委員 E	大日本図書では、さかのぼり学習ができるようリンクマークを設け、学年のふりかえりや学び直しができるよう、巻末には前学年までのまとめのページをつけるなどの工夫がある。
委員 C	算数は日常生活に接する構成になっていると、児童の理解にすんなり結びつくと感じる。東京書籍の報告から、問題解決の内容が身近なもので、考えやすいという報告あつた。学習の意味が感じられる学習過程になっていると感じられる。
委員 C	算数は苦手意識が出てきやすい教科なので、学習をサポートし、学力が低い子でも自分から進んで学べる教科書がいいと感じ

委員 D	<p>じる。</p> <p>東京書籍では、問題解決の際に「考えるときの手がかり」や「大切な見方・考え方」が示され、解決の手助けになっていると報告があった。適応問題の問題数が多く、補充問題もありさらにたくさん問題を体験することができる。</p>
委員 B	<p>新興出版社啓林館では、難しい単元のところについては、系統の見直しを図ったり、以前よりもていねいに単元の中で扱ったりするなど確実な理解を意識した工夫がなされている。</p>
委員 E	<p>どの教科書も子供の個人差を考えた問題数を考えている。理解度の早い子はさらに発展した問題にいけるように、できない子はそのページにある問題を丁寧に解けるようになっている。</p>
会長	<p>算数について、他に意見はあるか。なければ、次に移る。</p>
	<p><b>【全委員承認】</b></p>
会長	<p>次に理科について願います</p>
委員 A	<p>理科は具体的活動や日常事象から発見する「なんで？」という興味・関心から導入することで主体的な学びにつながると感じる。そういった意味では、報告にもあったが東京書籍の「レッツ スタート！」のページは、「なんで？」の疑問を引き出す効果的なページになっていると感じる。</p>
委員 E	<p>確かに他の教科書会社も導入には学びの入り口として、身のまわりの事象について不思議な場面であったり、調べてみたいと思わせる活動を設定されているが、東京書籍は見開きを使い大きな写真とイラストを活用し、補助的な説明も加えて、より主体的な学びにつながる工夫がされている。</p>
委員 D	<p>前回の会議でも出ていたが、「安全上の指導」という部分は徹底されなければならない。どこも安心して授業を行うための注意事項は記載されているようである。その中でも、器具の説明において学校図書は安全な器具使用の手順を時系列とともにわかりやすく説明する工夫がされている。</p>
委員 B	<p>器具を使用する際に全体指導はするものの、一斉に使用する際、担任1人で全部の班のチェックは難しい。そういうときに、順をおってチェックしながら使用できる資料があると、安全につながるように感じる。</p>
委員 E	<p>理科は実験を仲間とともに行う分、対話的な活動が多く含まれてくる。そういった中で、考察する場面では、実験結果からどのようなことが言えるかを話し合う場面が設けられている。東京書籍では、「レベルアップ理科の力」で対話の具体例を示し、対話的な学びのヒントとなる工夫をしている。</p>
委員 D	<p>啓林館の「理科の考え方を働かせよう」や「関心の高まるもの」、4年生の教科書には「根拠のある予想を立てましょう」とあり、将来につながる考えの働かせ方について意識させたりしているのはおもしろいと感じた。</p>
会長	<p>他に理科について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p>
	<p><b>【全委員承認】</b></p>
会長	<p>次に、生活について意見があれば願います。</p>
委員 A	<p>幼児期の学びを学校の学びへとつなげる「スタートカリキュラム」がどこの教科書でも見られるが、日本文教出版では、仲間と仲良くなるページ・学校生活に慣れるページとに分け、幼児期に習得した内容を踏まえ他者との関係や集団生活での決まり事について学び、スムーズに適応するための工夫がある。</p>
委員 D	<p>大日本図書においても、幼児期の学びをつなげるスタートカ</p>

委員 C	リキュラムを意識し、幼稚園などで遊んだ遊びを提示し、身近に感じさせる工夫が感じられる。
委員 E	資料の面から、東京書籍の切り離しても使えるポケット図鑑は、実物大で描いた動植物が描かれ「本物」を意識した学びができる。子供たちが、手元に置いて活用したいものと思った。意欲を持って調べたりすることができる工夫になっている。
委員 B	付け加えて、教科書全体の構成としても、活動の様子が理解しやすいようにイラストと写真を効果的に用いている。また、写真はアップの写真など迫力のあるものを使用し、児童の意欲を刺激する工夫が感じられる。
委員 A	学びの補助をする資料として、学校図書の「生活科学び方図かん」では、学習の進め方のコツや安全対策などを確認できるようになっている。さらに、できた所にチェックできるという部分は自分をふりかえる作業に大いに役立つ工夫になっている。
委員 C	学習活動を支援するコーナーは他の教科書会社でも見られるが、低学年の児童が見て、すぐに理解でき、深い学びにつながるものが重要になると思う。
委員 D	写真の様子がどれも本当に楽しそうなので、子供が一気に引き込まれる感じがする。
会長	昔、県から教育に関する3つの達成目標というのが出されていたその前段階、低学年用として「3つのめばえ」というのが出されていたその中で、道具の場所つまり道具の片付け方を身に付けようというのがあったが、教科書によってそれに関連した内容が示され、使うだけでなくしっかりと後始末の部分も書かれているのはいいなと感じた。
会長	他に生活について、意見はあるか。なければ、次に移る。
会長	<b>【全委員承認】</b>
委員 B	次に、音楽についてお願いします。
委員 D	教育出版では、見通しをもって取り組むために、見開きごとに学習のねらいと学び方を示す「学びナビ」が主体的な学びの工夫につながっている。また、「学び合う音楽」というコーナーは、協同的に学びにつなぐためのヒントや学習課程を示すための工夫につながっている
委員 B	同じく、教材に合わせた写真が、視覚的に情景が想像しやすいように工夫されている。イラストも効果的に使いながら、学習活動を進める手立てになっているように感じる。教育芸術社も曲想に合わせた写真の活用が見られる。
委員 E	教材が見開きになっているので、1時間の学習の流れがわかりやすく、楽譜などの表記も発達段階に合わせて、見やすくなっているように感じる。
委員 A	教育芸術社では、学習手順を番号で示し、学習の流れを見通しながら進めることができる工夫が見られる。また、様々なキャラクターの吹き出しが、児童のいろいろな考え方を引き出すきっかけになり、主体的な学びにつながるように感じる。
委員 C	加えて、一年間の学習を通して、見通しをもって学習に臨めたり、学習を振り返り深い学びにつなげたり、また既習事項を確認し、学習と学習をつなぐことができる工夫が感じられる。
委員 D	作者からのメッセージは、曲を作った人の想い、演奏する人の工夫にふれることができ、曲を作った人と距離が近くなり興味・関心につながる工夫を感じる。
委員 D	小学校では、季節の行事につながる行事が残っているので、教育芸術社は歌い残す日本の歌として取り上げている。例えば今月なら七夕などその時期その時期に合わせた伝統的な曲を残

委員 E	<p>すことは大切で、教育出版では季節の歌として残していることはいいと感じる。</p> <p>どちらの教科書も和楽器の扱いについてふれ、紙面を割いて入れてくれているのはいい。機会をつくって、琴や雅楽体験など取り入れることで音楽に親しむ心情が育つと感じた。</p>
会長	<p>他に音楽について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p>
会長	<p><b>【全委員承認】</b></p> <p>では、ここで15分の休憩を入れる。</p> <p style="text-align: center;"><b>【休憩】</b></p>
会長	<p>それでは、続きをはじめます。</p> <p>次に、図画工作についてお願いします。</p>
委員 D	<p>前回の選定委員会で想像を膨らませるための工夫ということで、写真資料や吹き出しが取り上げられていたが、開隆堂出版は大きな写真と児童等からの吹き出しが、しっかりと授業の課題・目標に焦点化されたものになっているように感じる。</p>
委員 B	<p>児童作品については似たような作品はなく、多様な作品を選択し、いざ児童が作品の豊かなイメージを持つ際に想像の偏りが出ないように配慮されていると感じる。</p>
委員 A	<p>さらに、キャラクターを活用して、想像する力や、考える力、関わり合う力を引き出すための工夫がある。</p>
委員 E	<p>日本文教出版は、友達と教え合ったり作品を見合ったりする様子を掲載することで、対話的な活動につながる学び合いや交流の工夫が感じられる。開隆堂も吹き出しが記入されているが、少し視点が違う内容になっている。</p>
委員 C	<p>巻末の資料では、材料や道具の取り扱い方や技法などをイラストや写真を活用として詳しく説明されている。誰でも安心して使える工夫が感じられる。巻末のみならず、題材ページでも丁寧に指導されている。</p>
委員 E	<p>製作の過程が見える写真を活用することで、児童の活動の道筋が見える工夫が感じられる。今の子供たちには必要になってくる。</p>
委員 A	<p>作らせっぱなしではなく、作品の作成後に開隆堂は「振り返り」、日本文教出版は「考えてみよう」と次をどうするかといった投げかけがあり、次の活動につながる工夫がどちらも感じられる。</p>
会長	<p>他に図画工作について、意見はあるか。なければ、次に移る。</p>
会長	<p><b>【全委員承認】</b></p> <p>次に、家庭科についてお願いします。</p>
委員 A	<p>前回、技能面の個人差を埋めるための工夫として、紙面構成について出たが、どちらも技能を身に付けさせるための工夫がなされているが、特に開隆堂出版は写真を大きく活用し、手順が丁寧に示されている。さらに、重要な語句等について一目で見てわかるよう太字にし、補足説明も充実しているように感じる。</p>
委員 E	<p>東京書籍においては、その点では実寸写真を提示し、切った野菜の厚さなど調理実習の際の知りたい情報がわかるように工夫していると感じる。QRコードも効果的である。</p>

委員 D	実習や製作のときには、作業内容が明確でパッと見てわかりやすいものがあると感じる。その中で、基礎技能につながる必要な情報をわかりやすく示しているものが教科書として使いやすいと感じる。
委員 C	家庭科は直で実生活と結びつく教科である。学びを生活に生かす設定がきちんと学習の中にあり、自ら進んで行える態度が育つものがよいと感じる。
委員 D	東京書籍では、「生活を変えるチャンス」というページがあり、今までの学習を生かして、生活の課題に取り組むための具体的な活動例が設定されている。自ら考え、学びを生かそうとする工夫が感じられる。
委員 A	開隆堂でも、「チャレンジコーナー」という形で、家庭実践につながる場面が設定されている。また、単元の中でも話合いの場面で家庭生活の課題を取り上げ、実生活を意識して話し合わせる場面をつくって工夫している。
委員 E	学校で学んだことを実践として家庭におとすための工夫はすごく大切であると感じる。
委員 E	家庭生活は環境とも深いつながりがあり。縁がきれいなところがある。どちらもその点を考えた取り扱いがある。
会長	他に家庭科について、意見はあるか。なければ、次に移る。
	<b>【全委員承認】</b>
会長	次に、保健について願います。
委員 B	東京書籍は大きさが A4 サイズになった。資料の見やすさや、思考力・判断力・表現力に合わせ、考えたこと記入するスペースを充実させている。
委員 C	学研教育みらいでは、導入の部分で大きな写真資料やイラストを提示し、問題意識をもたせる工夫が感じられる。一人一人に考えさせようという意図が見られる。
委員 A	光文書院では、「何のために学ぶのか」をスポーツ選手からのメッセージを載せることで、興味関心を高め、健康であることの大切さを実感し、その意味を感じられる工夫がある。
委員 E	現在、若い先生が増えてきている。経験の浅い先生でも、自信をもって授業を進めることができるように、学習の流れが明確になっていてわかりやすい。東京書籍では、4つのステップで課題～まとめまで、見通しを持って活動できる工夫が感じられる。
委員 A	最初の課題設定で、どの教科書会社も自分の健康課題を見つけさせる工夫が多く見られるように感じる。必要感をもって、学習に取り組ませている。
委員 D	自分の健康課題に合わせ、けがの手当や不安・悩みの対処法など技能を身に付けるための実習活動が設定されている。文教社では「学習活動」、光文書院では「考えよう」実習を通して考えさせ、丁寧に解説を加えることで、確実に習得させるための工夫が感じられる。
委員 C	光文書院は悩みの相談チャイルドラインが掲載されており、こういうのが今は必要なんだなと感じた。
委員 E	2年間使用する教科書であることの観点から資料面においてはよく考えられたものが多いと感じる。
委員 D	小中一貫の視点から、中学校では喫煙についての課題が挙げられたが、小学校でも高学年で喫煙についての項目があり、行田市では喫煙防止教室を定期的に行っている。しっかりと小学校と中学校のつながりが感じられる学習内容が見られる。
会長	他に保健について、意見はあるか。なければ、次に移る。

	<p><b>【全委員承認】</b></p>
会長	次に、特別の教科 道徳についてお願いします。
委員 C	どの教科書においても、今日的な課題である「いじめ」をテーマにした題材があることは、保護者として安心した。その中で、学研教育みらいは、「いのちの教育」を最重点テーマとしてそこから、いじめを生まない力を引き出す工夫が感じられる。
委員 D	「考え、議論する道徳」が今回の新学習指導要領で重要なポイントになっているが、それを実践できる工夫がどこの教科書も感じられる。学校図書においては、「きづき」と「まなび」の二分冊構成にし、「きづき」で教材から自分なりの課題を発見し、「まなび」で自分と他との関わりを捉え、道徳的価値を自分事として考えられるようにしている。
委員 E	教科書によって冒頭に主題や発問が明記されているものと、されていないものがある。どちらの方が、より考え、議論する道徳に近づくのか意見がほしい。
委員 B	教師側からすれば、議論をスムーズに行うには主題が事前にはっきりしていた方がいいかもしれない。しかし、先入観を外し、子供が自ら課題を発見し、進んで道徳的価値について発見できるようにするにはない方がいい。
委員 A	私もない方がいいと感じる。主題を示し、すでに決まりきった価値観の中では、議論は進まないと感じる。つまり、「より考え、議論する道徳」には近づかないのではないか。
委員 E	もう一つお聞きしたいのは、道徳ノートは一緒にあった方がいいのか。
委員 C	道徳ノートには、家で振り返るためには必要だと感じるが、すでに主題や話合う柱が書かれている。先ほどの話合いからすると、やはりない方がいいのではないか。
委員 D	これは難しいところであると思う。これがあることで、すでに話し合うことの内容が見えてしまい、決まり切った先入観を与えてしまうと考える。また、一方では、そのノート扱い方については教師の授業プランに合わせて使い、使い方次第では先入観を与えずに済む。むしろ、活用することによって道徳的価値の理解の深まりにつながったり、ねらいに対して効果的にせまったりすることもできるかもしれない。
会長	他に特別の教科 道徳について、意見はあるか。なければ、次に移る。
	<p><b>【全委員承認】</b></p>
会長	最後、外国語についてお願いします。
委員 B	外国語は小中一貫の視点からするとかなり重要なところである。小学校の学習がどこまで習得されているかによって、中学校の指導が変わってくるからである。開隆堂出版は、巻末に「中学校につなげよう」で語順や過去形、複数形など中学校の基礎が学べように工夫されている。
委員 C	子供たちが抵抗なく、外国語の学習に取り組める内容のものがいいと感じる。
委員 A	そうなってくると、行田の英語活動に近い学習の流れのものがいいと思う。
委員 D	学校図書は英語の歌から入り、レッスンシーンを聞き、目標表現のチャンツを繰り返し聞きそして話すという流れは似ていると感じる。また、東京書籍も各ユニットの内容に一致した



委員 E	歌とチャンツが用意されている。
委員 D	<p>教員自体も新しい教科活動にとまどいを感じているようである。だからこそ、児童はもちろん教員にとっても活動の流れがわかりやすいものを感じる。</p> <p>どの教科書も活動の流れが明確にわかりやすくなっている。その中で、学校図書は話す・聞く・読む・書く・紹介し合う・尋ね合うという段階が生まれ、多様な表現活動が組み込まれている。</p>
委員 B	<p>東京書籍も 1 時間の中での流れが明確になっている。また、評価の仕方についても出されている。特に「確かめる」のところで、学びを着実にする工夫がされている。</p>
会長	他に外国語について、意見はあるか。なければ、次に移る。
会長	<p><b>【全委員承認】</b></p> <p>皆様の御協力によって、小学校全ての教科書の協議が終了した。感謝申し上げます。</p> <p>これより、投票による選定に入る。</p> <p>ここから先については、非公開とする。傍聴人の方は、退席をお願いします。</p> <p>(傍聴者 退席)</p>
会長	<p>以上で選定を終了する。</p> <p>事務局は、傍聴人に声をかけてもらいたい。</p> <p>(傍聴者 入場)</p>
会長	続いて、事務局より事務連絡をお願いします。
事務局	<p>今回の選定委員会の選定を受け、来週木曜日に開催される。定例教育委員会にて令和 2 年度使用小学校及び中学校教科用図書が採択され、県教育委員会へ報告することとなっている。</p> <p>その後、各小学校・中学校へ採択結果を通知したいと思う。</p>
会長	<p>質問、意見はあるか。</p> <p><b>【質問、意見なし】</b></p>
会長	皆様の御協力により、円滑に終了することができた。これで議長の仕事が完了させていただきます。
司会	<p>会長、円滑な議事進行に感謝申し上げます。</p> <p>以上をもちまして、令和元年度 第 3 回第 19 採択地区教科用図書選定委員会を終了する。</p>

